

あつた  
あつた

# 米軍への加担 禍根残す

## 戦争法案

### 今言わなければ

私は、イラク戦争（2003年）の現場を取材してきました。

取材した、米軍によるイラクの空爆現場は、爆心地が完全に民間施設でした。現場を掘り出しても、ほとんどのケースは、子供服や女性のアバヤ（全身を覆う黒い布）が出てきて、武器はありませんでした。武装勢力の拠点に関する情報は、住民を拷問して引き出したものも多く、米軍は誤

ジャーナリスト

志葉 玲さん



った情報に基づき誤爆を繰り返しています。

戦場での米軍の行為は、民間人の殺傷や捕虜虐待など、戦争犯罪その

「テロ」を生みました。なるのが戦場です。

日本人を「敵」と

米国は「対テロ戦争」としていますが、それが

今日の過激組織ISの幹部は、イラク戦争当時の同国政府軍の人々です。米国を支援した日本を「敵」とみなしています。

日本人を「敵」と

本人だからです。

しば・れい 1975年東京生まれ。大学卒業後、番組制作会社を経て2002年に環境、平和、人権をテーマにフリーランスジャーナリストとして活動を開始。10年11月から「イラク戦争の検証を求めろネットワーク」事務局長。

日本人を含むジャーナ

リストや民間人の殺害が相次いでいます。04年、幸田証生さん（当時24歳）がISの前身団体「イラクの聖戦アルカイ

ダ」に殺害された事件は衝撃でした。遺体は「星条旗」にくるまれ、首都バグダッドの路上に捨てられていたのです。日本国民が狙われる危険は、イラク戦争のときから始

まっています。

イラク戦争への協力についてまともな検証もせず、さらに米軍の戦争に協力することが許される

のか。

「格好の標的に」

自衛隊員が殺し殺され、日本人がテロの標的にされることは、重大な問題です。戦争法案は、アフガニスタンでのIS

A F（国際治安支援部

隊）のような、国連の統括しない活動にも自衛隊を参加させる狙いがあります。法案は、特定地域の保安のための検問や警

護を規定していますが、こうした活動は格好の標的にされます。また、イラクやアフガンで、米兵の圧倒的な死因は、路肩などに仕掛けられた簡易

爆発装置（IED）です。危険は戦闘以外にこ

そあります。同時に、米国の戦争に協力して現地の人々の命を奪うことになれば、後々まで禍根を残します。私

たちの世代だけでは責任を負えません。そのことを国民が受け止め、戦争法案の廃案へ声を上げて

ほしい。

聞き手 中川 亮  
写真 浜島のみ